

ニュースレター27号【防災学術連携体】2020/3/13

ニュースレター26号でご案内しましたように、防災学術連携体では、災害が大型化する中で、低頻度巨大災害に関わる自然事象の発生の可能性と社会への影響について、日本学術会議の防災減災学術連携委員会、土木工学・建築学委員会低頻度巨大災害分科会と共催で、3月18日(水曜日)の12時30分から、第9回防災学術連携シンポジウム「低頻度巨大災害を考える」を日本学術会議講堂にて開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全国的なスポーツ、文化イベント等について、期間を限定して中止、延期又は規模縮小等の対応が要請されていることに配慮し、新型コロナウイルス感染拡大の防止に協力すべきと考え、シンポジウム当日は発表者と関係者のみが日本学術会議に集まり、発表の様子はインターネットを使って同時中継することになりました。日本学術会議へのご来場はご遠慮いただき、ネット中継される公開シンポジウムを、自宅や会社から視聴して戴けるよう、お願いいたします。

開催直前の変更をお詫びいたしますとともに、ご理解いただければ幸いです。

3月18日当日は防災学術連携体のホームページ https://janet-dr.com/060_event/20200317.html からアクセスしていただくことができます。(現在準備中ですので、資料の公開等は少々お待ちください。) この中継はどなたでも視聴することができます。ご関心のある研究者などに伝えていただけるよう、お願いいたします。シンポジウムの終了後も動画のご視聴は可能です。

※メディア関係の方からの問い合わせは、防災学術連携体 info@janet-dr.com にお問い合わせください。

防災学術連携体 代表幹事 米田雅子 (慶應義塾大学特任教授、日本学術会議会員)
代表幹事 古谷誠章 (早稲田大学教授、日本建築学会前会長)

防災学術連携シンポジウム「低頻度巨大災害を考える」

日時：2020年3月18日(水) 12:30～17:30

主催：日本学術会議 防災減災学術連携委員会、土木工学・建築学委員会 低頻度巨大災害分科会
防災学術連携体 (58学会)

趣旨：低頻度巨大災害を引き起こす極端な自然事象の発生の可能性を、現在までに得られている科学的知見に基づき、理学系各分野の専門家より解説していただき、これらが社会に及ぼす影響について工学系、および人文・社会科学系の各分野の専門家より発表していただきます。これらをもとに、今後の学術分野における取組みの方向性を議論します。



防災学術連携体

<https://www.youtube.com/channel/UCgPvKZI0VD670HgW9EJC-gw>

防災学術連携体の新規参加学会

日本航空宇宙学会 (The Japan Society for Aeronautical and Space Science) が新規参加学会として、2月26日開催の幹事会で正式に承認されました。構成学会数は57学会から58学会になりました

<https://www.jsass.or.jp/>

令和3年(2021年)1月の防災学術連携シンポジウムでは「東日本大震災十周年」をテーマにすることを予定しています。

防災学術連携体幹事・事務局長 田村和夫 (日本学術会議連携会員)
小野寺篤 (日本建築学会 事務局長代理)

防災学術連携体事務局 website@janet-dr.com
担当：麓 絵理子 (フモト エリコ)、小野口弘美 (オノグチ ヒロミ)
・ニュースレターの配信依頼、配信解除もここにご連絡下さい

防災学術連携体は、日本学術会議協力学術研究団体に加盟申請をしました。